

No.	013	—	2033	事務事業名	東温「さくらブランド」創出事業				細事務事業名	東温「さくらブランド」創出事業				公的関与	6
-----	-----	---	------	-------	-----------------	--	--	--	--------	-----------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	産業創出課		係名	産業創出係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	sangyososyutsu@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	29年度～33年度				
総合計画	政策目標	第3章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	3 観光・物産の振興				主要施策	(1)観光振興体制の確立			
事業の対象	東温市観光物産協会、市内の中小零細企業及び農作物生産者等を対象としています。						根拠法令							
事業の目的	最終的	東温市さくらの湯観光物産センターを拠点として、地域資源を活かした地域ブランドを創出し、地域経済の活性化を図ります。					今年度	東温市観光物産協会を中心に市内の中小零細企業が連携して、“東温市らしさ”のあるブランド商品の開発から試験販売、情報発信等ができる体制を構築します。						
活動内容	①	東温市観光物産協会を中心とした市内の中小零細企業の連携体制を構築します。					④							
	②	東温市らしさの感じられるブランド基準を制定するとともに、新たにブランド商品を開発します。					⑤							
	③	市内の中小零細企業の規模に合った営業戦略を構築します。												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標		
	ブランド商品売上げ増加額			ブランド商品売上げの増加した額			千円	目標	0	0	300	500		
								実績	0	0				
	ブランド商品開発数			ブランド商品の開発した数			件	目標	0	10	10	50		
								実績	0	9				
	連携企業数			ブランドP J に参画している企業の数			社・者	目標	0	10	5	22		
実績								0	14					

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	観光				費	
直接事業費		平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		10,442 千円		2,140 千円		※H29の事業費には、ふるさと体験棟に係る整備事業費(8, 000千円)が含まれています。				
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	0 千円		10,443 千円		5,171 千円						
	計(A)	0 千円		20,885 千円		7,311 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.325 人	1,954 千円	0.325 人	1,993 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		0 千円		22,839 千円		9,304 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	産業創出係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	民間委託等
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	東温市の多くは零細企業で、少ないロット数や狭い商圈での取引が主流となっており、商品の差別化を図ることは重要であるため、地域ブランドを創出する事業は必要です。												
有効性	市内の中小零細企業が連携して実施することで、企業自身が意欲的に取り組み、独創的な商品開発等につなげることができます。												
達成度	ブランド商品の開発数では、目標10件に対して9件と少し足りていない状況ですが、連携企業数では、目標10社に対して14社と目標を大きく超えています。												
効率性	東温市観光物産協会が主体となり商品開発等を実施するとともに、専門家によるブランディングを行うことで、より効果的な取組が実施できます。												
当面の課題	連携企業の多くは零細企業であるため、高付加価値で低ロットの商品展開も視野に入れて実施する必要があります。												
改計画	東温市観光物産協会が営業分野を補うことで、連携企業の負担軽減を図れます。												
二次評価者	産業創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	民間委託等
二次評価での指摘事項		本市の75％が4人以下の零細企業であることから、各市内企業のニーズを適切に把握するとともに、他の企業との差別化(＝高付加価値化)を図る必要があることから、積極的に事業に取り組んでください。											